



【編集】
富山国際大学
現代社会学部

富山国際大学

東黒牧ニュース

Toyama University of International Studies

大学内の森で実習



現代社会学部の地球環境論の授業では、地球環境の現状や課題について学んでいます。7月16日（火）には、富山県の森林研究所から長谷川副所長を迎えて特別講義をしていただき、富山県の森林の現状や身近な森にある植物の多様性について学びました。

前半は教室で森林の機能や効用、富山県の植生、里山がどのように利用されてきたかなどについて講義を受け、後半は大学内の森で植生調査を行いました。通常、半径10メートルの範囲に約40種類の植物があるそうですが、この日は短い時間であったものの、コナラなど20種類以上の植物を見つけることができました。木を見つけて葉を採取し、木の名前や特徴、利用のされ方などを教わり、さらに、森を散策する人たちにもわかるように木の名前をテープに書き、それぞれの木に巻きつけました。



身近な森にさまざまな植物があることや、豊かな生態系を保ちつつ森を利用していくことの大切さを学び、私たちは森とどのように関わっていけばよいかということを考える機会となりました。

（文・写真：高橋ゆかり）